

にしきお

防災教室

9月3日(火)、県から防災担当の方を招いて防災教室を行いました。なんととってもすごいのが地震体験車「そなえ号」。全校児童が学年ごとに



最大震度7というすごい揺れを体験しました。だんご虫のようになって身を守り、ひたすら揺れが収まるのを待つしかないことが実感できました。さらに、高学年はタブレット端末を使って災害シミュレーションの学習をしました。郵便番号を入れると錦生地区の地図が表示され、どんな被害が想定されるかが分かりました。洪水の可能性は低いですが、震度5程度の地震で山崩れによる被害が出ることなどが分かったようです。



中・低学年は防災すごろくを楽しみました。さいころの目によって災害のために足止めされ、なかなか前に進めない子もいましたが、全員無事に避難所(あがり)にたどり着くことができました。教室にすわって先生の話聞くだけでなく、身を持って自然の怖さを体験したり、仲間と一緒に課題を解決することで、少しでも子どもなりに語れるようになったのではと思いました。



《白萩》

避難訓練

9月5日(木)、大きな地震発生を想定しての避難訓練を行いました。非常ベルが鳴り地震発生の訓練放送が入りました。2日前の学習が見事に活かされ、子どもたちは全員、机の下にもぐり込み、机の脚を握り揺れの収まるのを待ちました。

揺れが収まると、避難指示の放送が入りました。子どもたちは、いつもの約束である「おはし」を意識しながら、「押さない」「走らない」「しゃべらない」避難行動をとっていました。



そして、避難場所のグラウンド中央に整列して最終の学年の報告が終わるまで、なんと1分54秒という速さでした。本番ではなかなかこのようにはいかないかもしれませんが、しかし、命を守るという意識を持って訓練を重ねることが大切だと思います。防災教室のとき、地震体験車の木下さんは、「地震はほぼ毎日起こっているんだよ。」という話をしてくれました。本当に起こった時にあわてなくていいよう、今日がんばってやれた経験を活かして、自分の命を守りましょう。



第7号
錦生小学校だより
平成25年9月30日

稲刈り体験

9月になって週末ごとに天気が崩れ、田んぼが乾きにくい状態が続いていましたが、なんとか天候が回復した10日（火）、5年生が稲刈りに挑戦しました。田植え以降、稲のお世話をしていた



いただいた神矢さんから、どのくらいの子が稲刈りをした経験がある

かという質問がありました。ほとんどの子がやったことがないということで、特にけがのないように鎌の使い方を



ていねいに教えていただきました。また、ただ刈り取るのではなく、脱穀作業がしやすいように、刈った稲わらをきちんとそろえて置くことが大切であるというお話もありました。いよいよ、田んぼの端と真ん中から挟み込むように二組に分かれて一斉に刈り始めました。はじめは、鎌をた



たきつけるように刈っていた子も、手前にスッと引くと刈りやす

いことに気づき、どんどん調子が上がって刈り進めていきました。そして、予定の範囲をはるかに超えて、全員協力してけがもなく、162㎡ほどを刈り終えることができました。



ワークキャンパーのみなさん

12日（木）、昨年もお迎えしましたが、「赤目の森」にワークキャンパーとして参加されている8人の方々が来てくれました。今年来ていただいたのは、台湾、インドネシア、イタリア、ベル



ギー、ポーランド、そして日本の学生さんたちでした。

今年も海外5か国と多くの国からでしたが、それぞれのお国の様子をパネルや写真を交えて紹介されました。その後、児童と一緒に「だるまさんがころんだ」ゲームなどをして触れ合いました。3限目には2年の生活科、3・4年の図工と6年の体育の授業



に、また、4限目には、1年の国語と5年の社会



にそれぞれ分かれて授業に入っていました。短い時間でしたが、一緒に汗を流したり、会話を楽しん

だりと、新たな出会いの時間を楽しむことが出



来ました。

